

## (5) 「『よさ』を育てる個人カルテ」の記録

基礎的・基本的な内容の定着を図り、「よさ」を把握し、生かし、伸ばす手立てとその結果を全て個人カルテに累積記録した。下のカルテは、児童F. Sのものである。44ページに示した「ひらめきカード」と45ページの「ジャンプカード①」の活用例も同児童のもので、このカルテと対応して見ることができる。「発展カード」は5種類あるが、紙面の都合上一部割愛してある。

【調査・分析事項】		児童	教師	親			
性格・行動	粘り強い / 健康 / 動物、自然愛	動物愛 / 意志が強い / 個性的で発想がユニーク		努力家 / 素質、才能あり / 健康動物、自然愛			
学習全般	よく読書する	読書量が多い / 粘り強い		読書 / 発想ユニーク / 施設の活用宿題をきちんと果たす			
「よさ」の把握	図画工作科への興味・関心 図画工作科の題材別での興味・関心 「想像して描く」の各段階での興味・関心 「表現遊び」の授業での興味・関心、態度 「表現遊び」の授業での興味・関心、態度	児童の意 識	① とても好き 2 好き 3 ふつう 4 あまり好きでない 5 好きでない ① 絵をかく 2 彫刻 3 版画 4 デザイン 5 工作 6 鑑賞 とても〇 好きだった〇 意識しなかった□ いやだった△ とももいや× ① 主題決定 ② 発想・構想 ③ 構図・下絵 ④ 色をぬる ⑤ 鑑賞	やっているとおもしろいから おもしろいから (班の友だちから見た「よさ」) 苗の房、実、種の3色がきれい いろんな色を工夫、真剣だった いろんなものを真剣にやった			
作品の見方や鑑賞時の相互通評価と	10月4日(火)           ホップカード① 「興味・関心」の見方や感じ方のよきところ イllumの活動中の見方や態度でよかったところ	友だちから (F K)さんへ うそび(うそび)	友だちから (F K)さんへ うそび(うそび)	友だちから (F O)さんへ うそび(うそび) わからず(わからず) うそび(うそび)	自分の感想 友だちからのカードを読んで自分の気持ちと感想を聞く うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	先生からの感想 指導中の動画を聞く うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	座席表の記録・備考  ○ うそび(うそび) 様子 販売後は活動的に に
主題の表出と構図の相互評価	10月19日(月)           ステップカード① 「興味・関心」の見方や感じ方のよきところ イllumの活動中の見方や態度でよかったところ	友だちから (F K)さんへ うそび(うそび)	友だちから (F K)さんへ うそび(うそび)	友だちから (F O)さんへ うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	自分の感想 友だちからのカードを読んで自分の気持ちと感想を聞く うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	先生からの感想 指導中の動画を聞く うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	座席表の記録・備考  ×販売して自分の考え方通りでなかった ン
完成した作品の相互評価	10月19日(月)           ジャンプカード① 「興味・関心」の見方や感じ方のよきところ イllumの活動中の見方や態度でよかったところ	友だちから (F K)さんへ うそび(うそび)	友だちから (F K)さんへ うそび(うそび)	友だちから (F O)さんへ うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	自分の感想 友だちからのカードを読んで自分の気持ちと感想を聞く うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	先生からの感想 指導中の動画を聞く うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび) うそび(うそび)	座席表の記録・備考  △ 金子君が予測的 に生かしてなかった うそび
題材のまとめ	①「物語を描く」の各段階での興味・関心 とても好きだった ○ 好きだった ○ 意識しなかった □ いやだった △ とももいやだった × 1 主題決定のとき ○ 2 発想・構想のとき ○ 3 構図・下絵のとき ○ 4 彩色のとき ○ 5 鑑賞のとき ○	②「よさ」の意識化 (意識のしかたや絵の表し方のよき) あらわすものが全体であらわされている。 (自分の活動についてのよき) いままでしあがってはやくできただところ。	③学習のまとめ おうちすもの大きさ かくことといひようで きにくこどもをあ げました。	ジュニアビリティの レーダーチャート 	(教師の観察) 絵を描く学習へはこれまでも意欲的に取り組んでいたが、今回も作品資料の鑑賞時を除いては意欲的で、話し合いにもよく参加し要を得た発言をしていた。 作品も、良く仕上がり、基礎基本の定着も出来ていたようである。 社会的距離指数 (104) + 11		